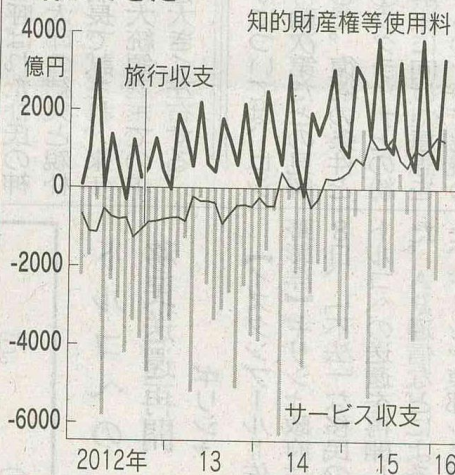


2月サービス収支 訪日客や特許料寄与

黒字定着うかがう

サービス収支は黒字になる月が増えてきた



旅行や輸送などの海外とのやりとりを示すサービス収支が3カ月ぶりに黒字に転換した。財務省が8日に公表した2月分は1595億円の黒字だ

訪日外国人の日本での消費額が増えたほか、企業の海外進出を背景に海外の子会社から受け取る特許料なども伸びた。それそれ今後も堅調に推移する見通しで、サービス黒字が定着する可能性もある。

サービス収支は赤字が続いてきたが、2015年3月に初めて黒字になった。黒字は今回で5回目。旅行収支と、特許や著作権の収入を示す知的財産権等使用料の伸びがサービス収支を押し上げる構造になっている。

旅行収支は外国人が日

本で使ったお金から日本人が海外で使ったお金を差し引く。訪日外国人が増えるほど旅行収支の黒字も拡大しやすい。2月は189万人で2月として過去最多だった。政府は年間の訪日外国人数を20年に現在の2倍の4千万人に増やす方針だ。

知的財産権等使用料は、日本にある自動車メーカーの親会社が海外にある子会社から受け取るケースが伸びているとみられる。海外の需要を取り込むため、企業が海外に工場や店舗をつくらせたり同業他社を買収したりする動きが活発になっている。

日本の経常黒字を支えてきた貿易黒字は輸出の低迷でさえない。サービス黒字が定着すれば経常黒字に追い風になる。

人事

最高裁(9日)東京高裁部総括判事(札幌地裁所長)阿部潤▽札幌地裁所長(札幌家裁所長)甲斐哲彦▽札幌家裁所長、竹田光広